

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	法人や事業所の今後のビジョンについては幹部職員のみでなく全職員と共有して運営を進めることができている
	内容	令和2年度から令和7年度までの運営強化5ヶ年計画を策定し、今後の方向性を明確にし計画的に運営を進めています。法人の将来的ビジョンについては全職員に説明し、予算編成の際は、経営層のみでなく一般職員も関わることで法人のビジョンを全職員で共有化が図れるように努めています。職員自己評価の「事業所が目指していることを理解できているか」の項目ではほぼ全職員が「そう思う」と回答しており、職員の理解が深まっている様子がうかがえます。幹部職員のみでなく、全職員が一体となり運営を進めていることは法人全体の強みとして評価できます。
2	タイトル	職員採用の工夫や育成、離職防止に向けた取り組みにも力を入れてさらなる組織力の向上につなげています
	内容	法人内各事業所にはパーソナルリーダー(育成責任者)を配置して現場職員の業務評価を効率よく実施できる体制を築いています。人事評価もこれまでの年に一度の開催から半年ごと評価を行う仕組みに変更し、的確な業務評価の下で適材適所の人員配置に努め職員の定着率向上につなげています。また今年度は良質な人材確保に向けて、専門の研修を受講して求人の見せ方や求人を出すタイミングについて工夫を図り、良質な人材の採用につなげています、職員の採用、育成、離職防止に向けた取り組みに力を入れてさらなる組織力の向上につなげています。
3	タイトル	事業所内で取り組める取り組みを数多く取り入れ、利用者がコロナ禍による不安を抱かないように多くの工夫を凝らしています
	内容	日々の活動は、メインとする活動は設けずに、例えば革工芸を希望する利用者に対しては革工芸活動に取り組んで頂いたり、ちぎり絵などの作品作り、訓練活動としてマット上での各種のリハビリや運動、音楽療法であるミュージックセラピー、ST(言語聴覚士)やPT(理学療法士)による訓練なども定期的に行っています。特に今年度はコロナ禍の影響もあり、利用者には大きな不安を抱くことが無いように配慮するほか、外出活動も減少しましたが、それに変わる代替案を職員も提案しながら、利用者が不安なく通所できるように様々な工夫を凝らしています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	現在準備を進めている災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備えての事業継続計画の早期完成に努め、災害対策のより一層の強化を期待します
	内容	災害に備えた取り組みでは、災害時マニュアルを整備しているほか、避難訓練に関しても定期的を実施しています。今後に向けては、現在準備を進めている災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備えての事業継続計画について早期の完成を期待します。さらに、災害備蓄品について必要数確保できているかの確認のほか、送迎中に地震に見舞われた際の対応、さらに電話回線が不通になった際に家族に対してどのような手段で利用者の安否を伝えていくのかについてなどもより明確にできると良いと考えます。今後の取り組みを期待します。
2	タイトル	利用者の活動内容についてブログ形式で紹介する等、ホームページをより効果的に活用できると良いと思われます
	内容	事業所の情報は「パンフレット」、法人広報誌の「六三四たより」、ホームページにおいて提供しています。ホームページでは、各事業所の概要や特徴、事業所内の設備などについても確認できるほか、広報誌の「六三四たより」においてもダウンロードできる形式としています。事業計画書も年度ごとに公表しており透明性についても確保しています。ホームページの閲覧者も増えることを考え、今後に向けては各事業所の活動の様子などをブログ形式で紹介する等、更新についても定期的に行い、ホームページをより効果的に活用できると良いと思われます。
3	タイトル	地域の関係者と築き上げてきた関係性が希薄化しないように、今できる関わり方を模索し良好な関係がこれからも継続できることを期待します
	内容	今年度は新型コロナウイルスの影響もあり軒並み地域行事は中止となっていますが、これまで築いてきた連携が途切れないようにオンライン会合を通して関係機関と情報交換を行い、関係性の継続に努めています。例年であれば市内の特別支援学校や市の障害者センターで開催されるお祭りへの参加、近隣の保育園児との交流などを通じて地域との交流が図れるように支援していました。今年度はコロナ禍により活動は自粛していますが、これまで築いてきた関係が希薄化しないように、新型コロナウイルス感染症の収束後も同様な交流が図られることを期待します。